

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	データベース	科目名	SQL II			科目コード	T1320B2			
配当期	後期	授業実施形態	通常			単位数	2 単位			
担当教員名	森岡 卓哉	履修グループ	2E(SP)			授業方法	演習			
実務経験の内容										
学習一般目標	IT市場においてはシステム構築、運用、管理において管理性、拡張性、コスト効率がより求められ、その需要に対応するのが「Oracle Database 12c」です。3つの特徴である、リソースの有効活用、自動管理機能による管理・運用の効率化、柔軟性と拡張性を備えた総合管理ツールである同製品の技術者を育成し、客観的な指標として信頼されているOracle Masterの新資格「Bronze」を取得する									
授業の概要および学習上の助言	「Oracle Master Bronze Oracle Database 12c」資格試験の2科目中の1科目目「Bronze SQL 基礎」試験に対応した科目です。複数の表の結合や副問い合わせ、データ操作、オブジェクトの作成および管理について学びます。各章ごとにある実習問題を通してSQL文を習得してください。									
教科書および参考書	ORACLE MASTER Oracle Database 12c Bronze 12c SQL基礎(ソフトバンククリエイティブ)									
履修に必要な予備知識や技能										
使用機器	使用機器パソコン機器									
使用ソフト	Oracle									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	データベースの基本的な概念を理解し、説明できる								
	1/2	SQL文を使用したデータベースの操作ができる								
	5	講義と実習に意欲をもって取り込むことができる								
	4/5									
	1/2/3/4/5									
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30			30				60
		2.思考・判断	30							30
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							10	10
	総合評価割合	60				30			10	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	定期試験期間中にペーパー試験を実施します。(持ち込み有り) SQLの穴埋め、SQL文の実行結果などを問う 60点
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	各章ごとに実習を出題します。 30点(オプション問題はプラス $\alpha$ 加点をします)
作品	
ポートフォリオ	
その他	出席回数、態度など総合的に判断します。 10点

### 授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	第1回 7章 複数の表からのデータの表示 等価結合、非等価結合	実習・講義	実習2
第2回	第2回 7章 複数の表からのデータの表示 自己結合、3表の結合	実習・講義	実習2
第3回	第3回 7章 複数の表からのデータの表示 外部結合	実習・講義	実習2
第4回	第4回 8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 単一行副問合せ	実習・講義	実習2
第5回	第5回 8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 グループ関数の使用	実習・講義	実習2
第6回	第6回 8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 HAVING句での副問合せ	実習・講義	実習2
第7回	第7回 8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 複数行副問合せ	実習・講義	実習2
第8回	第8回 9章 集合演算子の使用方法	実習・講義	実習2
第9回	第9回 10章 データの操作 DML文	実習・講義	実習3

第10回	第10回 10章 データの操作 トランザクション	実習・講義	実習4
第11回	第11回 データ操作 実習4演習	実習・講義	実習4
第12回	第12回 11章 DDL文を使用した表の作成と管理 表の作成、デフォルト、表の削除	実習・講義	実習5
第13回	第13回 11章 DDL文を使用した表の作成と管理 制約概要	実習・講義	実習5
第14回	第14回 11章 DDL文を使用した表の作成と管理 制約構文	実習・講義	実習5
第15回	第15回 11章 DDL文を使用した表の作成と管理 DDL文を使用した表の作成と管理 実習5演習	実習・講義	実習5